



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 509 (2020. 5. 15)

<今週のトピックス>

買い物代行でデカコーン

代行サービスというと、頭に浮かんでくるのは、家事や育児の代行、お酒を飲んだ時の車の運転の代行などではないでしょうか。変わったサービスでは、家族や友達の代行もあるようですね。

さて、世界的なコロナウィルスの影響もあり、アメリカでは、買い物代行サービスが流行しています。

Amazon を使ったオンラインショッピングは、日本でも主流になっていますが、アメリカの Amazon では、食料品も買うことができます。Amazon は、2017 に、スーパーマーケット大手の Whole Foods を約 1.5 兆円で買収しており、サービスを展開。

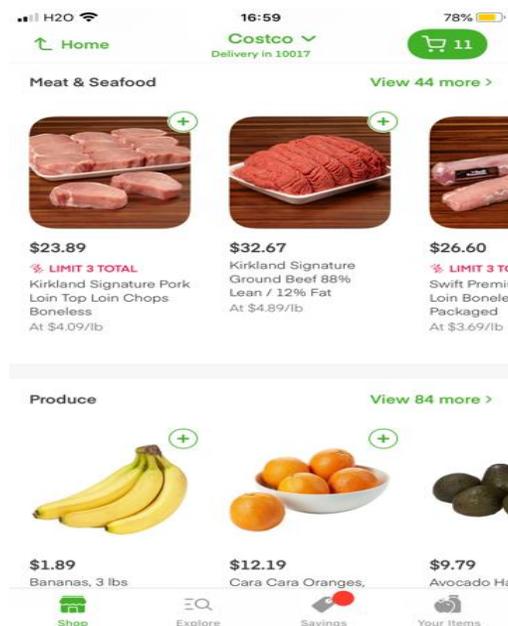
今回のコロナウィルスにより、住人の外出が制限されるなか、オンラインショッピングが急激に加速したことは、各種メディアでも報じられている通りです。食料品のオンラインショッピングは、推計によると、コロナ禍前は、全体の 3% に過ぎなかったのが、今は 10% を超えているとのこと。

そのなかでも、最近注目されているのが、「インスタカート (Instacart)」です。食料品店の自前のサービスではなく、サードパーティアプリの運営会社で、2012 年に元 Amazon のエンジニアである Apoorva Mehta 氏が、立ち上げた会社です。

仕組みとしては、登録しているアルバイトの人 (パーソナルショッパー) が、代わりに買い物をしてきて、家まで食料品等を届けてくれるというものです。



実際にアプリを使ってみるとよく分かりますが、自分が住んでいる近くの食料品店やドラッグストア（例えば、コストコやCVS）が複数表示され（一つのお店だけではないことがポイント）、そのお店で売っている商品が同じレイアウトで表示されており（お店によってレイアウトが違っていると見慣れるのに時間がかかりますが、同じ表示だと見易いのがポイント）、エンドユーザーの使いやすさを意識した作りこみになっています。



では、インスタカートの凄さについて、数字で見てください。

創業年	2012年（創業8年）
事業展開	5,500カ所の地域で営業（アメリカ、カナダ）
提携先数	Kroger, Costco など計 350 社の食品スーパーと提携
国内カバー率	アメリカ国内では 2 万店以上で展開（国内世帯 85% をカバー）
ショッパーの登録者数	約 75 万人（最近 30 万人を新たに雇用）
企業価値	約 80 億ドル（8,000 億円以上、2018 年当時） ※現在は、約 120 億～140 億ドル程度の価値が付くとも言われており、実現すればデカコーン（ユニコーンの上）になります

興味深い光景として、現地のスーパーマーケットへ買い物に行くと、スマートフォンを見ながら（買い物リストを念入りにチェックしている様子）、真剣に買い物をしているパーソナルショッパーらしき人達が、店内に沢山居ることです。

奥様の買い物を代行するご主人の場合、間違ったものを買ってきたり、何かを買忘れても、少し嫌味を言われる程度で済みますが、お金を貰って代行するパーソナルショッパーの場合、買い物のミスは致命的ですので、真剣な表情になるのも当然ですね。

（出所：Instacart HP, Wall Street Journal, Bloomberg）

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。